

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
生活と芸術 Life and Art		全学科	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	選択	村上 芳明	
概要				
<p>芸術とは特定の芸術家だけの特権ではないし、高尚な芸術作品を美術館で鑑賞することだけでもない。「生活と芸術」とは、“生活に密着した芸術”であり、“生活に役立つ芸術”、“生活を豊かにする為の芸術”であるとも言える。ここでは、絵手紙、砂絵、カード制作の他に自由制作をする中で、生活の中に芸術を取り入れるセンスと方法、技術を身につける。世界でたった一つの自分の作品を制作する喜びと達成感を味わう。</p>				
到達目標				
<p>(1) 身近に「芸術」を取り入れて生活を豊かにするための心地良い色彩や形を選択する事ができる。 (2) 自分や周囲の人の生活に彩りを与え豊かにするための「感性を磨く意欲」を高める事ができる。 (3) 生活の中で「使う、飾る、プレゼントする」目的で作品を描き、制作する事ができる。</p>				
授業内容とすすめ方				
<p>1 オリエンテーションー生活と芸術とはー 2 絵手紙の制作① ー絵手紙とは何かー 3 絵手紙の制作② ー基本の道具、顔彩の色ー 4 絵手紙の制作③ ー墨で練習してみる。よい線とは？ー 5 絵手紙の制作④ ー枯れ葉、緑の葉を描くー 6 絵手紙の制作⑤ ー野菜、果物を描くー 7 絵手紙の制作⑥ ークリスマスカードや年賀状をつくる。字も入れるー 8 自由制作の進め方 各自、自分の作りたい物をカタログ等で検討し決定する 9 自由制作 ① ※ 以下は「飾る」「身に付ける」「プレゼントする」「使う」 10 自由制作 ② など、目的に応じたものを自由に選び、制作していく。 11 自由制作 ③ 例：砂絵・塗り絵・イラスト・木彫りなど 12 自由制作 ④ 13 自由制作 ⑤ 14 自由政策 ⑥ 15 自由制作 ⑦ 完成 提出</p>				
テキストおよび 参 考 文 献	<p>テキスト：なし (プリントを随時配布)</p>			
メ ッ セ ー ジ など	<p>材料費が500～1000円くらい必要です。自由制作もできます。</p>			

ルーブリック評価を用いた成績評価

到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 身近に「芸術」を取り入れて生活を豊かにするための心地良い色彩や形を選択する事ができる。	生活の中の「芸術」を理解し、多くの人が心地良いと感じる色彩や形を選択する能力が十分にある。	生活の中の「芸術」を理解し、自分なりに心地良い色彩や形を選択する能力がある。	生活の中の「芸術」を概ね理解し、自分なりに色彩や形を選択する能力がある。	生活の中の「芸術」を理解できず、色彩や形を選択する能力がない。	作品 (関心・意欲 表現力)	25%
(2) 自分や周囲の人の生活に彩りを与え豊かにするための「感性を磨く意欲」を高める事ができる。	生活の中に「芸術」を取り入れるための感性を磨く意欲が十分にある。	生活の中に「芸術」を取り入れるための感性を磨く意欲がある。	不十分ではあるが生活の中に「芸術」を取り入れるための感性を磨く意欲がある。	生活の中に「芸術」を取り入れることができる感性を磨く意欲がない。	学習状況 (知識・関 心・意欲)	50%
(3) 生活の中で「使う、飾る、プレゼントする」目的で作品を描き、制作する事ができる。	実際に使用したり、飾ったり、誰にでもプレゼントできるような作品を制作することができる。	実際に使用したり、飾ったり、知人であればプレゼントできるような作品を制作することができる。	人にプレゼントはできないかもしれないが、飾ったり、使用できる作品を制作することができる。	実際に使用したり、飾ったり、人にプレゼントできるような作品を制作することができない。	作品 (技能・表現 力)	25%